

4797号

2010年12月22日

# 伝書鳩

全国一般労組・全国協議会  
安倍川製紙労働組合  
静岡市葵区田町3-5-6  
電話 054-271-7302  
岩淵構内電話 340  
[abekawarouso@room.ne.jp](mailto:abekawarouso@room.ne.jp)

## 続けていること自体が会社の恥 当直の廃止を申し入れ

12月17日中央労使委員会に次いで東海工場の労使懇談会が開かれました。月例の決算報告の後、安倍川労組は、夏休みや年末・年始の当直廃止を改めて申し入れました。

### 警備強化で充分対応

組合の主張は以下のようなものです。①放火対策ということで始めたようだが、今年王子エンジニアリングに泥棒が入ったことなどから、当直者が危険にさらされることも考える必要がある。プロの警備を増員して、複数で回ってもらうことのほうが安全だろう。②銀座の本社では当直がない、工場だけで行う意味がよくわからない。③会社は王子新労と特殊紙労組からの申し入れというが、それなら紙業は関係ないだろう。④会社全体での取り組みでないのはなぜか、王子の単身赴任者は帰ってしまっているし、管理職などは行っていない。



### 会社 本社は鍵がかかるから???

これに対して会社からは①当直廃止を言っているのは安倍川労組だけで、現場からは不満はない。②銀座の本社ビルは鍵がかかるし、警備会社に依頼してある。等が言われました。

安倍川労組は、王子新労の中でも「当直はいやだ。」という声はかなり大きくなっていると聞いています（会社という組織を考えると、自分の耳触りのいい声しか届いていないとしたら、大きな問題があります）。

その後の話し合いの中では、工事の都合で年末に電気が止まる際は、当直者は守衛室に待機しており、ますます当直の必要性が理解できないものになっています。などを組合は主張しました。

### まだまだ矛盾はいっぱいある

話し合いの後、組合の中で話し合ったこととして①放火に備えるというならば、放火そ

のものがどのような時間に多いか等を調べるのが当然です。素人が考えても夜間に重点を置くべきだし、工場の中（火災報知機がある）ではなく、工場の塀沿いにパトロールをするほうが現実的です。



②（他の組合のことなのでとやかく言うことではないにせよ）王子新労と特殊紙労組からの申し入れと会社は言いますが、組合員は知らないものが多く、どんないきさつなのか。③当直者にも教育は行われていない。放火以外に泥棒も想定すべきです。④当直予定者が当日、何らかの事情で当直ができないとなった場合、何らかの混乱が生じるとは思えません。

## 王子として賢く柔軟な解決を

以上のことを見れば、これまで何のために当直をおいてきたのか?と思います、むしろ「泥棒とのトラブル」がなかっただけでも幸いと思えさえます。この「愚かな制度」は会社のメンツだけで続けているとしか思えません。「機械を壊しても良いからケガはしないように」と普段から会社が言っている姿勢からすれば、社員の安全を考えて当直は廃止とするのが筋の通った対応と考えます。